

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和46年度～		根拠法令・規程等		ありません		
総合計画	大項目	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		問合先	担当課(室)	農林水産課		
	中項目	基本施策	01	豊かな食を支えるまちづくり				職・氏名	管理係長 大道健一	
	小項目	施策	01	農業				電話	0869-64-1831	
事務事業名		05		農業関連負担金事務						

事業の実施		対象(誰・何に対して)		備前市内の田畑、吉井川流域の関係市町、備前地区の農業振興地域など。	
目的(何のために)		備前市内の田畑、農業施設を整備したり、吉井川流域の環境保全・維持などに負担金を役立てるため。			
行政活動(どのような方法で)		岡山県土地改良事業団体連合会負担金、備前地区農業農村振興協議会負担金外5件。			
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		備前市内の農業施設を整備し、農業振興地域や吉井川流域の環境保全維持などをしていきたい。			

事業の実績						
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	負担金件数(主な負担金)		件	8	7	7
実績	東備農業共済事務組合負担金		円	12,370,000	12,416,000	12,416,000
	備前地区農業農村振興協議会負担金		円	200,000	180,000	180,000
	岡山県土地改良事業団体連合会負担金		円	54,007	54,044	53,969
	事業費		千円	13,296	12,736	12,736
業績	必要人員		人	0.20人	0.01人	0.04人
	事業費		千円	14,911	12,811	13,075
	国・県支出金		千円	0	0	0
	受益者負担金		千円	0	0	0
	繰入金		千円	0	0	0
	その他(市債)		千円	0	0	0
一般財源		千円	14,911	12,811	13,075	
受益者負担比率		%				

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	結果指標量	件	8	7	7
	対前年対比	%	-	87.5%	100.0%
	活動コスト	円	14,911,000	12,811,000	12,736,000
	単位当たりコスト	円	1,863,875	1,830,143	1,819,429
結果指標②	結果指標量	-			
	対前年対比	%			
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
各補助金を支払ったことである、成果結果がないので設定できません。	目標値(A)	-	-	-	-
	実績値(B)	-	-	-	到達目標年度
	達成率(B/A)	-	-	-	-
成果指標設定の考え方・式や説明					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		B	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	判定理由・課題認識		事業対象や目的は妥当であるが、市内の田畑耕作者や農業振興地域などが減少していることもあり、負担金の額については、他市と協議の上、削減したい。	
		<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある			
効率性の評価	コスト	効率性評価<A~E>		C	
		判定理由・課題認識		削減するよう負担金額は各市で毎年協議しているが、下がる余地は少ない。人件費の削減も昨年同様しているが今後も継続し努力したい。	
有効性の評価	目的達成度	有効性評価<A~E>		D	
		判定理由・課題認識		各負担金の成果を数値化するの難しいが、他市とも内容を精査し、協議見直し負担金の内容や成果が分かる資料を作成していく必要がある。	
市民参画度	市民ニーズ	市民参画度		市民・団体等から要望・要請が強い	
		説明		<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
市民参画度	市民参画度	市民参画度		<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②	成果指標量			
	-	-	-			
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
	○					
説明	事業内容等を精査しても負担金が増加している。					

総合評価		評価区分<A~E>		C	
負担金の削減もさらに可能と思うが、他市と協議の上農業施設等や環境保全も考慮にいれて見直ししていかなければならない。削減しすぎること市民サービスの低下を招かないよう努力する。					

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	負担金の削減は他市と協議の上農業施設等や環境保全も考慮にいれて、見直しする。しかし、削減すること市民サービスの低下も招くので、継続しつつ内容を精査していく。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		